

パネル展示会を実施しました！

「当代島地区防災まちづくり方針（案）」の内容やこれまでの検討内容を、より広く知っていただくため、当代島公民館で防災まちづくり方針（案）のパネル展示会を実施しました。

防災まちづくり方針（案）の内容に関するパネルの常設展と合わせて、会場でスタッフがご来場いただいた方に説明を行いました。

パネル展示会の実施概要

- 【実施期間】①常設展：令和5年2月13日（月）～20日（月）
②パネル説明：令和5年2月19日（日）～20日（月）各日午前10時～午後3時
- 【会場】当代島公民館1階 図書館前展示スペース



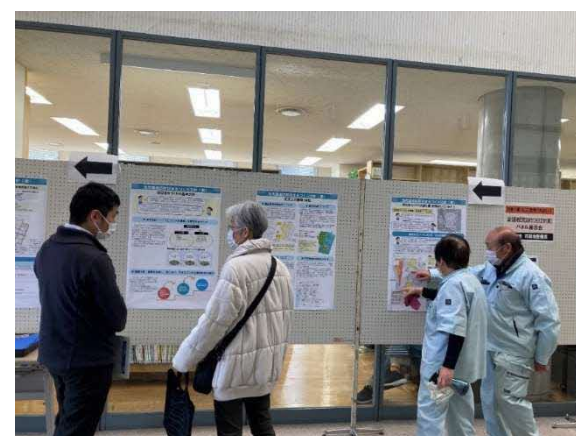
パネル展示の様子



1日目の様子

会場でのご意見

- ・歩道は確かに歩きにくい。まちを散歩する際にもっと歩きやすいと良いと思う。
- ・歩道の舗装が凸凹しているのをフラットにしてほしい。
- ・旧江戸川沿いの車の交通がとても危険。
- ・街路樹（ヤマモモ）の実が落ちて歩道の掃除が大変。
- ・街路樹で歩道が狭くなっているところは街路樹をなくして歩道を広くしてはどうか。 など



2日目の様子

問合せ先

浦安市 都市整備部 市街地整備課 旧市街地整備係
〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号
TEL 047-712-6564(直通)

令和5年3月 発行：浦安市

当代島地区 防災 まちづくりだより 第2号



住民アンケートを実施しました！

浦安市では、堀江・猫実・当代島地区を災害に強いまちにすることを目標として、防災まちづくりに取り組んできたところです。

当代島地区では、火災の延焼拡大や地震時の建物の倒壊等による防災面の課題を抱えた街区が点在しています。

このような防災上の課題を踏まえて、令和5年2月に「当代島地区防災まちづくり方針」の策定に向けた住民アンケートを実施しました。

本紙では、アンケートの結果についてご紹介します。



住民アンケートの概要

防災まちづくり方針（案）とアンケートは、「当代島地区防災まちづくりだより第1号」として地区に全戸配布しました。

はがき回答とWEB回答を合わせて564件の回答をいただきました。ご協力いただきありがとうございました。

調査の概要

【調査期間】令和5年2月12日（日）～27日（月）

【配布結果】当代島1～3丁目 6,535件

【回答数】 はがき回答 261件
WEB回答 303件
合計 564件（回答率 8.6%）

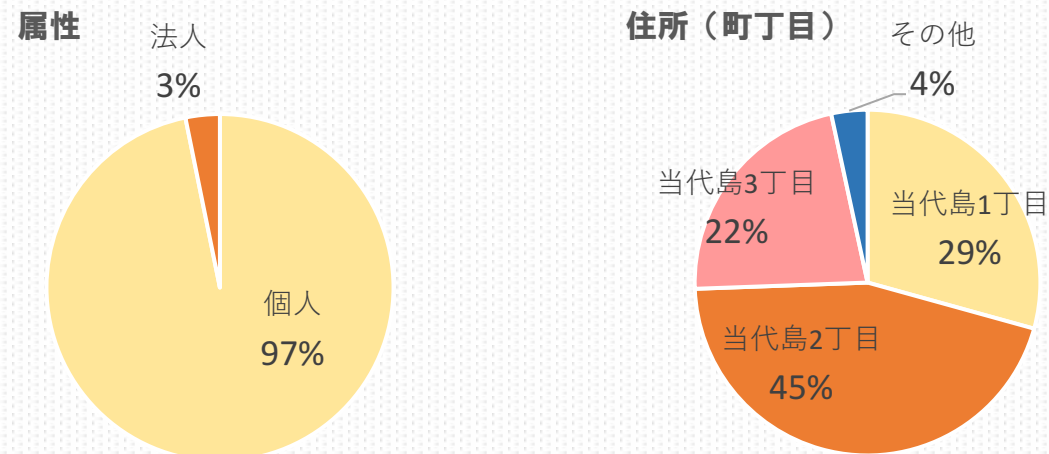


当代島地区防災まちづくりだより第1号

住民アンケートの結果をご紹介します！

各設問の集計結果

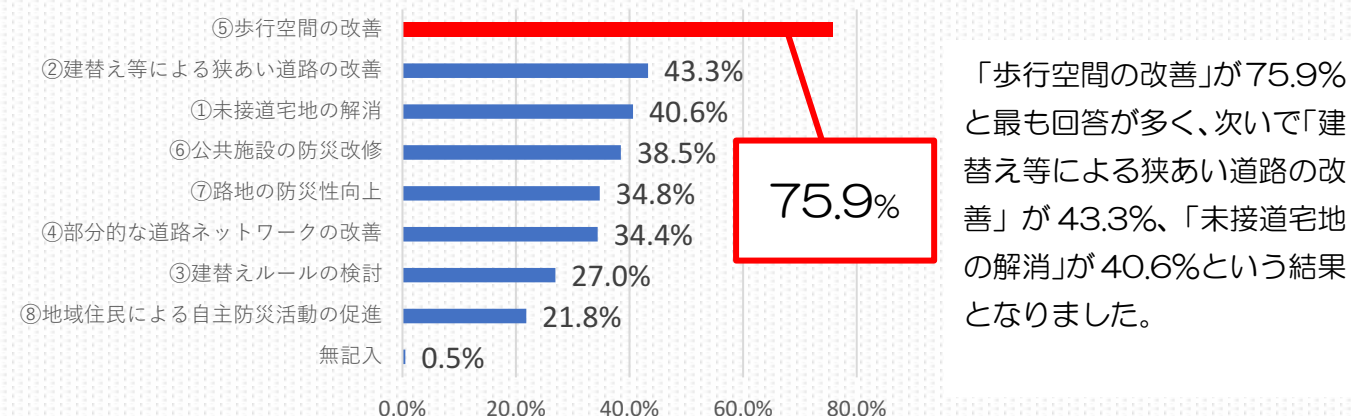
1 回答されるあなたご自身のことについてご記入ください。



2 当代島地区防災まちづくり方針（案）の内容についてどう思いますか？（1つに○）



3 「防災まちづくりの具体例」のうち、特に取り組むべき施策はどれだと思いますか？（当てはまるものすべてに○）



自由意見欄でいただいた主なご意見

特に取り組むべき施策
アンケート第**1**位！

『歩行空間の改善』に関するご意見

- 公園や公民館があるので、子どもやベビーカーが通ったりすることが多いですが、道が狭く雨で傘をさすとすれ違うのもやっとです。すれ違うのに子供が車道に出てしまうこともあり、危険だなと思うことも多いです。特に歩道の道幅の確保をして頂きたいです。
- 介護事務所です。当代島は駅も近く商店や病院も多くあり大変住みやすいところですが、介護の仕事をしていると歩道が狭く、車椅子の介助や杖歩行の方の付き添い等、やりにくさや危険を感じることがあります。住民の高齢化もあり、シルバーカーを押して歩く方も多く見受けます。防災まちづくりをきっかけに街全体を改善しより良いまちにして頂けるとありがたい。

『建替えによる狭あい道路の改善』に関するご意見

特に取り組むべき施策
アンケート第**2**位！

- 避難の際、路地が通れず大通りに出れないことが心配。
- 広い道路に面している角地の場合、狭あい道路に面した部分は、拡幅されずそのままになっている。狭あい道路の中だけが広がっている。実際の入り口が狭いままなら、緊急自動車は入っていけない。

『未接道宅地の解消』に関するご意見

特に取り組むべき施策
アンケート第**3**位！

- 近くに老朽化した家屋があるが、強風や台風時に屋根や壁が剥がれて飛んでくるかもしれないという不安が常にある。
- 老朽家屋の解体撤去は、火災だけでなく治安の問題にも関わってくるので、直ぐに取り組んで頂きたいです。

その他のご意見

- 旧県道も歩道が非常に狭く、電柱が歩道の真ん中にあるなど、歩道の機能がなされていない。抜け道になっていて、スピードを出す車も多いので危ない。
- 旧江戸川沿いの道路が狭いわりに抜け道のためとくに朝は車が多く行き交ってます。場所によってはすれ違いもできないため住宅のセットバックを検討してほしいです。
- 幅員 6m 未満の道路を拡幅する事は難しいと思う。消火栓の完備がなされていれば、無理な拡幅はしなくて良いと思います。
- 気になるのは地震時における津波や堤防決壊による水被害。民間のマンションと連携して高所に避難できる制度が必要に思う。公民館に避難するのは現実的で無いと思う。
- そもそも防災活動への人員募集をするものがなかなか見つからない。どう入っていけばいいかわかりません。
- この地区はお年寄りも多く、今後ますます高齢化がすすんだ場合の避難誘導に心配があります。地域のネットワーク造りは個人同士の繋がりでは限界があるので、行政から働きかけてきちんとした組織を作りあげる必要性を感じます。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました！結果は方針や関連する計画の検討の参考とさせていただきます。